

成 田 市 の 環 境

2022（令和4）年版



成 田 市

はじめに

私たちはこれまでに、大気汚染や騒音問題、水質汚濁など、日常生活や産業に伴って発生する環境問題に直面してまいりました。今日の環境問題は、地球温暖化が一因とみられる猛暑や集中豪雨などの地球規模の問題まで広がり、ますます複雑・多様化しております。



本市では2018（平成30）年度から2027（令和9）年度を計画期間とする10年間の環境施策の展開を定めた「第三次成田市環境基本計画」を策定し、「地球にやさしい環境交流都市 成田」を将来環境像として掲げております。これを実現するためには、長期的・総合的な視点に立って、社会経済活動と環境保全の両面を調和させる取り組みを進める必要があります。

本書は、本市の環境行政の概要や、環境汚染などの環境リスクのない、安全・安心して暮らせるまちをつくる上での基礎となる大気質や水質、騒音・振動の発生状況など、本市の環境の現状の調査結果をとりまとめたものであります。

本書を通じて、市民及び事業者の皆様が環境問題への理解と関心をさらに深められ、豊かな自然と文化に恵まれた成田市の環境を将来に引き継ぐために、広くご利用いただければ幸いに存じます。

また、本市では各種計画に基づき様々な施策を展開しておりますが、これらの多岐にわたる環境問題は行政だけで解決できるものではなく、市民及び事業者の皆様と一体となって取り組んでいくことが不可欠でありますことから、施策の推進に当たりましては、皆様のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

2023（令和5）3月

成田市長

小泉一成

成田市の環境 2022（令和4）年版

目 次

はじめに

第1部 総論

第1章 成田市の概要	1
1. 位 置	1
2. 地形と地質	2
3. 沿 革	3
4. 人 口	3
5. 産 業	4
6. 土地利用	6
第2章 環境行政の体制	7
1. 環境行政の沿革	7
2. 審議会等	10
3. 広域的環境行政組織等	12
第3章 環境行政の推進	14
1. 成田市環境基本条例	14
2. 成田市環境基本計画	14
3. 総合的環境保全施策	18

第2部 各論 環境の現状と対策

第1章 大気汚染	21
1. 概 要	21
2. 気 象	25
3. 硫黄酸化物(SO _x)	27
4. 窒素酸化物(NO _x)	29
5. 光化学オキシダント(O _x)	32
6. 一酸化炭素(CO)	34
7. 浮遊粒子状物質(SPM)	35
8. 炭化水素(HC)	37
9. 有害大気汚染物質	39
10. 酸 性 雨	40
11. 微小粒子状物質(PM _{2.5})	42
第2章 水質汚濁	44
1. 概 要	44
2. 河川の状況	52
3. 印旛沼の状況	72
4. 下水道の状況	74
5. ゴルフ場水質調査	74
6. 地下水汚染	76

第3章 騒音・振動	80
1. 概 要	80
2. 工場騒音・振動(特定施設)	82
3. 建設作業騒音・振動(特定建設作業)	84
4. 自動車騒音・道路交通振動	86
5. 航空機騒音	95
6. 環境騒音	103
第4章 悪 臭	106
1. 概 要	106
2. 現 状	106
3. 法令等による規制	107
4. 調査・測定	107
第5章 地盤沈下	108
1. 概 要	108
2. 観 測	109
3. 現 状	110
4. 地下水採取状況	115
5. 対 策	116
第6章 土壌汚染	117
1. 概 要	117
2. 土壌汚染の状況と対策	120
第7章 ダイオキシン類	121
1. 概 要	121
2. 調査結果	121
3. 対 策	126
第8章 自然環境	127
1. 概 要	127
2. 自然環境保全地域	127
3. 動植物生息調査	128
第9章 廃棄物	134
1. 概 要	134
2. 成田市一般廃棄物処理基本計画	135
3. 成田市循環型社会形成推進地域計画	136
4. 現 状	137
5. 今後の対策	142
第10章 地球温暖化対策	144
1. 概 要	144
2. 成田市環境保全率先実行計画(区域施策編)	144
3. 成田市役所エコオフィスアクション(第4次成田市環境保全率先実行計画)	145
4. 成田市住宅用省エネルギー設備設置費補助金	148
5. 成田市地球環境保全協定	149

第11章 その他	151
1. 土砂等の埋立て	151
2. 空き地の適正管理	152
3. 放置自動車対策	153
4. 苦情	154
5. 放射線量の測定	155
資料編	156
1. 成田市環境基本条例	157
2. 環境用語解説	161